

海外派遣留学生
留学報告書

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数: VEEP (Vancouver English Experience Program)
EAP(English Academic Program)
- ・科目名: VEEP: 午前: Integrate skills (Grammar and Reading) 午後: Project class
EAP: 午前: Reading、Writing 午後: Listening Speaking

時間	月	火	水	木	金	土	日
例)9時～13時	○	○	○	○	○	○	Free
VEEP 10時15分～16時45分	○	○	○	○	○	Free	Free
EAP 8時30分～14時45分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

VEEP—300 (1月～2月下旬)

クラス人数:8人 国籍割合:日本人:7人 チリ:1人 担当教員:2人
 授業方法: 基本、3人から4人で1つのグループを作り、discussion 形式で授業が行われる。
 使用教材: PEARSON; Top Notch2

VEEP—400 (3月～4月下旬)

クラス人数:14名 国籍割合:日本人11人 チリ:2人 メキシコ:1人 担当教員:2人
 授業方法: Instructor にもよるが、この term では、個人での学習の割合が多かったと感じている。例えば、教科書にある文法問題を一人で解くなど。しかし、個人作業が多いながらも discussion を行う時間も確保されていた。
 使用教材: OXFORD; Navigate B1+

EAP—400 (5月～6月下旬)

クラス人数:13名
 国籍割合: 日本:4人 台湾:2人 タイ:1人 ペルー:1人 メキシコ:1人 チリ:2人 オマーン:1人 韓国:1人
 担当教員:2人
 授業方法:このコースでは、より Grammar, Reading, Writing に特化したクラスだったので、必然的に個人作業が増えた。しかし、文法の問題を解いた後には、必ずクラスメイトと確認し合う時間が設けられていた。したがって、Speaking の機会も自分が考えていたよりも確保されていた。
 使用教材: PEARSON; Leap 1 Reading and Writing/Leap 1 Listening and Speaking
 PEARSON; Focus on Grammar 3B

EAP—450 (6月～8月下旬)

クラス人数:15人
 国籍割合: 日本:5人 韓国:2人 チリ:2人 タイ:1人 台湾:3人 オマーン:1人 ペルー:1人

海外派遣留学生
留学報告書

担当教員: 2人

授業方法: このクラスは前回の term の続きだった為、大きな変更点はなかったが、取り扱う内容の難易度が少しずつ上がっていった。具体的に、海洋汚染の問題に関する記事を読み、自分なりの考えをまとめ、意見交換をするなどの授業があった。

使用教材: PEARSON; Leap 1 Reading and Writing

Leap 1 Listening and Speaking

PEARSON; Focus on Grammar 3B

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

カナダは物価が高く、基本的に物の値段が高かったが、カナダにある有名な観光地には行くことが出来た。例えば、Lynn Canyon Park や Grouse Mountain などは、自分自身にとって思い出の場所となった。また、カナダは毎週火曜日、映画を半額で見ることが出来たので、平日の息抜きとして、映画を見に行った。週末は、晴れていたらホームステイ先が海に近い家だったので、海に行き、ゆっくりしたり、家の周りを散歩したりしていた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

UBC内にある、AMS Student Nestという場所で、放課後、自習や友人と喋った。また、UBC Life という場所も頻繁に利用した。この施設は、AMS よりも、よりカジュアルな雰囲気の施設で現地の学生が、授業合間や放課後に集まり話しているので、いい listening の練習になった。自分ではないが、自分のルームメイトは、UBCにあるジムの利用券を購入し、頻繁に利用していた。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: 私の場合、初めの3か月滞在した、ホームステイ先の環境が悪く変更した。具体的に、食生活で問題があった。もちろん、日本と違う文化である為、異なった食事をするのは当たり前のことだが、自分の家の食事は、他の生徒のステイ先と比べた際、食事の質が良くなかった。しかし、変更後は、食事の問題も解決され、快適に生活することが出来た。また、最初の家では、あまり、host mother との会話がなかったが、変更後は、話す機会が沢山あった為、家族と良い関係を作ることが出来た。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

友人と英語で会話をしている時間が一番楽しかった。その日あった、何気ないことを話しながらゆっくりする時間が自分にとって最も心地いい時間だった。またそれと同時に、自分自身の英語力の向上を感じる事が出来た。授業内で、習った、idiom や expression を会話の中で、混ぜて話すことが出来た時の達成感や充実感、更に、自分が話すだけでなく、人の話をしっかりと理解出来た時もまた、同じように達成感や充実感を体験することが出来た。自分自身、ここまで良い関係性の友人を作れると思っていなかった為、このように、たわいもない会話をする友人が出来たことはこの留学の中で大きな収穫だと考えている。

● 苦労したこと:

初めの1~2ヶ月は、毎日が、カナダの生活に対応しなければいけない事と自分に対する絶望との葛藤だった。自分自身、カナダに行った当初は、英語も全く理解できない状況だったので、ホームステイ先の家族と会話することも難しく、また、自分の間違った単語のチョイスによって、相手を困惑させてしまった事も多くあった。その度に、自分の無知さにイライラしていた。また、食文化に順応していくという点も難しく苦労した点だった。自分は日本食が大好きなので、お米がない生活は、とても苦しかった。更に、何気なく使っていた、お風呂の時間が、10分~15分と時間制限されていた点は、大変な点であった。

留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

自分自身、speaking と listening の能力は向上したと考えている。最初の1、2ヶ月は、発音が、分からない単語やアクセントなどの問題があった。しかし、留学が終わる頃には、難しい単語も発音する事が出来るようになった。この向上の背景には、友人との何気ない会話に関係していると考え。自分と頻りに話していた、タイの学生は、発音とアクセントが良かった。したがって、私は、彼の発音や喋り方を真似した。彼と会話をする中で、難しい単語や発音が分からない物があった際は、彼に聞き、彼が分からなかった場合は、Oxford の辞書を引き発音を調べた。この、学習法は、自身の2つのスキルを劇的に向上させてくれた。

2) 専門知識の向上:

授業内で、頻りに環境汚染に関する記事を読んだ為、他の学生と比べ、その分野に関する専門知識は向上したと考える。

英語に関する、専門知識は、文法について深く理解することが出来たと考えている。以前の自分は、文法を単なるルールとして考えていた。しかし、この留学から、文法の考え方が、より論理的でその状況にあった、文法の使い分けが重要であることに気づき、その知識を養う為、沢山の問題を解き、間違え、ミスから学ぶことが出来たと考えている。

3) 自己成長など

自分自身の中で、最も成長したと感じた点は、人間性である。留学前、自分は極度の内気で、人と話すのが苦手だった。なぜならば、自分の何気ない発言によって、相手が不快な気分になってしまうのではないかと考えていたからである。したがって、日本にいた時は、人と話すという事を避けてきた。しかし、8ヶ月、違う文化、言語の中で生活する中で、自分自身の新しい一面に気づくことが出来た。それは、他人と話すことが好きだと言う点である。この国は、日本と違い、より自分自身の気持ちを表現しなければならない。また、することが出来る環境が整っていた。したがって、日本と比べ沢山のコミュニケーションの機会があった。この経験を、通して、自分の内気な人間性は、社交的へと変わった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

8ヶ月や7ヶ月などの、長期的な留学が行える機会というのは、年齢が上がるごとに難しくなってくると思います。自分は、大学生である今だからこそ留学に行くべきだと考えています。なぜならば、若い時は、失敗しても軌道修正することが出来るからです。沢山のミスから、学び、英語力だけでなく人間性や異文化理解など様々な分野で自分自身を成長させてくれるのが留学だと思います。また、若い時はより柔軟に物事を考えることが出来るからです。しかし、金銭的な問題で、行くか悩んでいる人や諦める人も多いと思います。しかし、このような貴重な経験が出来るのは、もしかしたら、一生に一度かもしれません。人生の先行投資だと考えて是非留学してみてください。留学は、自分自身の価値観、また、人間性までも変えてくれるかもしれません。恐れずに挑戦してみてください。

海外派遣留学生
留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目 ※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	183,000
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約90,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	約880,000
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	約35,000
その他(外食、娯楽)	約100,000
留学に関する費用の総額	約1,288,000

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします!



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

